



中川一政「二つの壺の薔薇」1971年 60.6×72.7cm 真鶴町立中川一政美術館蔵

白山市立松任中川一政記念美術館開館35周年記念

没後30年 中川一政展

— 二つの中川一政美術館交流展 —

2021年9月4日(土)～11月28日(日)

白山市立松任中川一政記念美術館

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日 ※9月20日(月・祝)は開館し、9月21日(火)休館

観覧料 一般400(200)円、高校生 200(100)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※各種障がい者手帳を提示の方、及び必要な介護者1人は無料

主催 白山市・白山市立松任中川一政記念美術館

特別協力 真鶴町立中川一政美術館

助成 芸術文化振興基金

後援 北國新聞社

お問合せ 白山市立松任中川一政記念美術館 石川県白山市旭町61-1 TEL:076-275-7532

アクセス 北陸新幹線JR金沢駅から普通列車(小松・福井方面行き)で約10分、JR松任駅下車、南口から徒歩1分



中川一政 松任 検索

同時開催

真鶴町立中川一政美術館

中川一政 没後30年記念

— 二つの中川一政美術館交流展 —

当館チケット提示で優待!



白山市立松任
中川一政記念美術館



真鶴町立
中川一政美術館

白山市立松任中川一政記念美術館開館35周年記念

没後30年 中川一政展

— 二つの中川一政美術館交流展 —

令和3(2021)年は、中川一政(1893-1991、文化勲章受章者)の没後30年を迎えます。明治に生まれ大正期に画家を志し、昭和そして平成の時代まで生き抜いた一政は、絵画を中心に書や陶芸、挿画や装丁、また短歌や詩、随筆など文芸にと幅広い活動を展開しています。それらの全てに一境地を拓いた足跡は、近現代画壇のなかでも際立った存在感を放っています。

美術館開館35周年を記念し、改めて一政の足跡を辿り、その作品の魅力や創作姿勢に迫る展覧会を開催します。本展では、一政のもう一つの美術館「真鶴町立中川一政美術館」(神奈川県)との交流展と位置づけ、その所蔵資料の中から、当館に所蔵が少なく希少な初期から中期の作品を中心に借用展示します。このことは、一政芸術の底流をなすもの、また円熟期に到る歩みを明らかにし、新たな魅力の再発見につながるものでしょう。併せて、当地ゆかりの作品にもスポットを当て、一政と本市との繋がりを改めて紹介します。

画像クレジット

①「駒ヶ岳」1982年 130.3×162.1cm ②「百合とマジョリカ壺」1989年 97.5×64.0cm ③「正念場」1989年 85.0×30.5cm ④「向日葵」1980年 72.7×60.6cm ⑤「ポンターベン」1970年 45.5×60.6cm ⑥「少女像」1975年 45.5×38.0cm ⑦「尾道展望」1961年(参考作品) 72.5×61.0cm ⑧「山川呼応」1933年(参考作品) 83.0×118.0cm ⑨「杉と茶畑」1916年 45.5×53.0cm ⑩「酒倉」1914年 24.3×33.4cm
※①②④⑤⑦⑧⑨⑩真鶴町立中川一政美術館蔵、③当館蔵、⑥個人蔵

展示構成(予定)

油彩32点、岩彩4点、書11点、陶芸7点、愛用品7点、直筆原稿ほか資料21点、計82点



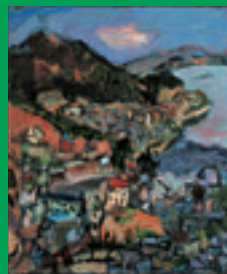
⑩



⑨



⑧



⑦



⑥



④



⑤



①



②



③

関連イベント

●オープニングコンサート「中川一政が愛した音楽
〜クラシック&フラメンコ」[要申し込み/観覧料のみ]
出演：坂口昌優(ヴァイオリン)・鶴見彩(ピアノ)／
高坂文彦(ギター)・中川恵子(舞踊)・仁志出智衣
(舞踊)・上田真由美(唄)の各氏

日時：9月4日(土)13:30～14:30
定員：30名

●記念講演会「中川一政の書の魅力について」(仮)
講師：石川九楊氏(書家・書史研究家)
日時：10月30日(土)13:30～15:00
会場：千代女の里俳句館 研修室
定員：50名(抽選/往復はがき応募/10月12日消印有効)
料金：1,000円(観覧料込)

●スペシャルトーク「要申し込み/観覧料のみ」
ゲスト：加藤志帆氏(真鶴町立中川一政美術館 主任学芸員)
日時：9月26日(日)14:00～15:00/定員：15名(先着順)

※会場記載のないものは当館内で行うため、一般の入場が制限される場合があります。

●ギャラリートーク「申込不要/観覧料のみ」
9月11日(土)、10月10日(日)・23日(土)、
11月7日(日)・20日(土) 各回11:00～11:30
定員：各回15名(先着順)

●0歳からの家族鑑賞会「ミュージアム・スタート」
[要申し込み/無料]
日時：10月18日(月・休館貸切)午前
対象：乳幼児とその家族
定員：決まり次第公式サイトでお知らせします。
協力：NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

●クロージングイベント「美術館句会」
講師：大高翔氏(俳人・「藍花」副主宰)
日時：11月28日(日)10:00～12:00
定員：20名、初心者歓迎(抽選/往復はがき応募/11月
16日消印有効)
料金：1,000円(観覧料込)

当館では、新型コロナウイルス感染症対策を実施して展覧会及び関連イベントを開催いたします。
入館の際には、手指の消毒や検温、マスクの着用などのご協力をお願いいたします。十分な間隔を保って観覧いただくために、入場制限を行なう場合があります。
感染の拡大状況によっては、会期やイベントが変更になる場合があります。変更の場合や詳細については公式ウェブサイトでご案内いたします。



交通案内

電車：JR松任駅(金沢駅から福井方面普通列車で約10分)南口から徒歩1分
東京・金沢 北陸新幹線 かがやき利用で約2時間30分
大阪・金沢 特急サンダーバード利用で約2時間30分
名古屋・金沢 特急しらさぎ利用で約3時間
バス：北陸自動車道 白山インターチェンジから車で約10分
(美術館専用駐車場8台あり)
航空機：小松空港からJR小松駅経由でJR松任駅下車

同時開催

真鶴町立中川一政美術館

中川一政 没後30年記念 —二つの中川一政美術館交流展—

中川一政の名を冠した2つの美術館、白山市立松任中川一政記念美術館(石川県・昭和61年開館)と真鶴町立中川一政美術館(神奈川県・平成元年開館)が協力し、特別展を同時開催します。両館は開館以来、収蔵するコレクションや土地柄に合わせ、それぞれのアプローチで一政の魅力を発信してきました。同時開催する本展では、作品の相互貸借や関連イベントを通じて、多角的な視点で一政の画業や生き様に迫ります。両展覧会が中川一政の魅力を再発見する機会となれば幸いです。

会場／真鶴町立中川一政美術館(神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1178-1 TEL:0465-68-1128)

会期／令和3年9月4日(土)～11月28日(日) 10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日／毎週火・水曜日(祝日は開館)

観覧料／一般800(700)円 大学生・高校生 300(200)円()は20名以上の団体料金/各種割引・減免あり

※松任中川一政記念美術館「没後30年 中川一政展」チケット半券提示で団体料金適用。

主催／真鶴町立中川一政美術館(真鶴町教育委員会)

白山市立松任 中川一政記念美術館

NAKAGAWA Kazumasa Memorial Museum of Art

〒924-0888 石川県白山市旭町61-1

TEL 076-275-7532

中川一政 松任

検索

